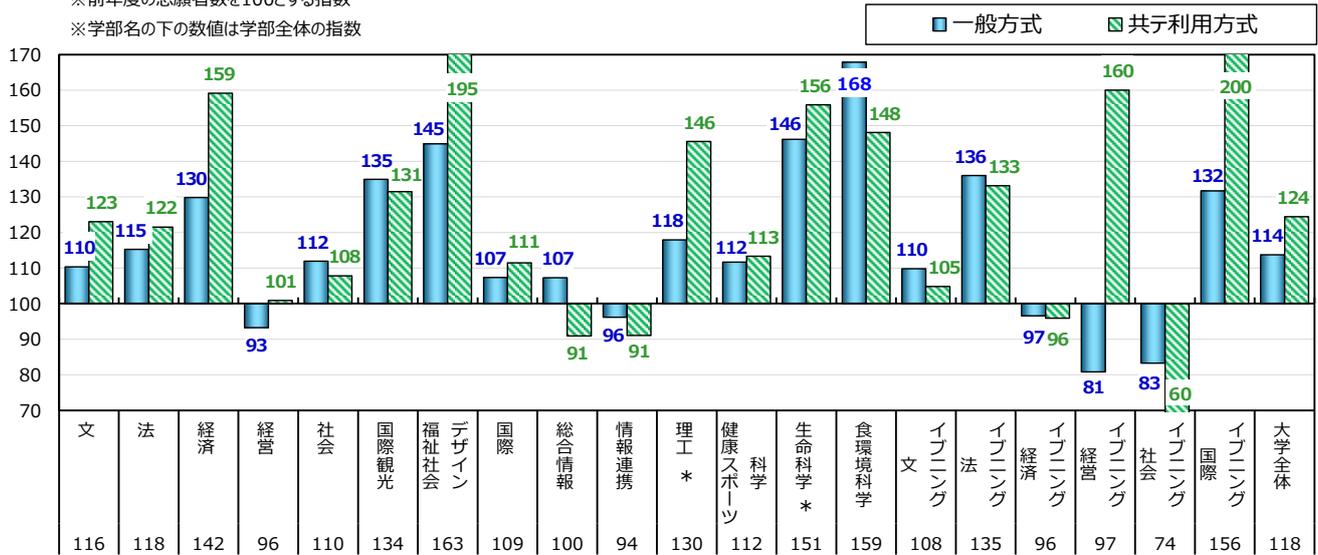


東洋大：大学全体では大幅増加、志願者数は4年ぶりに10万人台 一般：+6,995人 共テ：+8,806人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



*理工は2023年度の(生体医工)を除いた志願者数との比較、生命科学は2023年度の理工(生体医工)、生命科学(生命科学、応用生物科学)の合計との比較

主な入試変更点

キャンパス移転：食環境科学…板倉キャンパス→朝霞キャンパス
 学部改組：理工(生体医工)、生命科学(生命科学、応用生物科学)→生命科学(生体医工、生命科学、生物資源)
 ※生体医工は川越キャンパスから、生命科学、生物資源は板倉キャンパスからそれぞれ朝霞キャンパスへ移転
 学科改組：食環境科学(健康栄養、食環境科学/フードサイエンス)→食環境科学(健康栄養、食環境科学、フードデータサイエンス)
 選抜方法：生命科学(生命科学)…<共テ・前期5科目>新規実施
 文(英米文)…<共テ・前期5教科>新規実施
 文(哲)…<共テ・中期3教科>新規実施
 (教育/人間発達)…<共テ・前期4教科英語重視>新規実施
 経済(総合政策)…<一般・中期3教科数学重視>新規実施
 経営(経営)…<一般・前期3教科英語重視>、<一般・中期3教科英語重視>新規実施
 <一般・前期3教科国語重視>、<一般・前期3教科数学重視>、<一般・中期3教科最高得点重視>廃止
 (マーケティング)…<一般・前期3教科英語重視>廃止
 社会(社会、社会心理)…<共テ・前期3教科数学重視>新規実施
 国際…<共テ・前期5教科>新規実施
 国際(国際地域)…<一般・前期4教科>、<一般・中期3教科英語重視>新規実施
 <一般・前期3教科英語重視>、<共テ・後期3教科>廃止
 ※その他、詳細は「入試変更点一覧」(https://www2.sundai.ac.jp/news/2024news/s_2.pdf)参照

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、学部・学科改組とキャンパス移転、各学部での入試方式変更や入試日増設が影響し、15,801人(118)の大幅増加で、志願者数は4年ぶりに10万人を上回り、全国4位の志願者数だった。20学部中15学部が増加、減少の5学部も(社会イブニング)(74)を除くとやや減少に留まった。方式別では、一般方式は6,995人(114)の増加で、5年ぶりに増加に転じたが、志願者数は4年連続5万人台。共通テスト利用方式は8,806人(124)の大幅増加で前年度大幅減少の反動。イブニングコースを除いた学部別では、14学部中12学部で増加。特に、学部改組で新設されて2年目の福祉社会デザイン(163)は前年度減少率40%以上の大幅減少の反動と改組の周知が進み激増。学科改組の食環境科学(159)は郊外から都心へのキャンパス移転効果もあり約6割増の大幅増加、学部改組の生命科学(151)は改組前の理工(生体医工)と既存の(生命科学)、新設の(生物資源)との比較で約5割増の大幅増加、理工(130)は改組前の(生体医工)を除いた比較で前年度大幅減少の反動で3割増の大幅増加。一方で、情報連携(94)はやや減少で2年連続減少、経営(96)は2年連続増加の反動は小さくやや減少。

<一般方式>

- 文(110)は、4年連続減少の反動で増加。志願者数は3年ぶりに7,200人を上回った。学科・専攻別では、8学科・専攻中6学科・専攻が増加。特に(東洋思想文化)(153)は4年連続減少の反動で大幅増加、志願倍率も9.6倍→14.8倍へアップ。
- 法(115)は、大幅増加。志願者数4,300人台は募集人員が262人となった2021年度以降で最多。学科別では、2学科とも増加し、特に法律(119)は2年連続減少の反動で大幅増加。
- 経済(130)は、5年連続減少の反動で大幅増加。志願者数は4年ぶりに7,000人を上回った。学科別では、3学科全てが大幅増加で、特に増加率が高かったのは(総合政策)(156)で、新方式を実施したが既存方式のみでも(153)の大幅増加。
- 経営(93)は、前年度増加の反動でやや減少。学科別では、3学科中2学科が増加。新規方式を実施した(マーケティング)(109)は増加したが、廃止となった方式を除くと(116)の大幅増加で、新規実施の方式も除くと(104)のやや増加。(会計ファイナンス)(103)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(経営)(84)は新規方式を実施したが前年度大幅増加の反動で大幅減少、志願者数は4,300人台まで減少。
- 社会(112)は、社会福祉デザインの学部改組で4学科になって2年目だが、改組前の(社会福祉)を除いた比較では3年連続減少の反動

- で増加。学科別では、4 学科中 3 学科が大幅増加。特に(社会心理)(117)は大幅増加で、志願者数は 3 年ぶりに 1,600 人を上回った。(国際社会)(116)は大幅増加で 2021 年度の改組後初の増加だが、志願者数は 1,211 人と改組当初の 1,224 人には届かなかった。
- 国際観光(135)**は、コロナ禍の収束による系統への人気回復の影響で、前年度増加に引き続き大幅増加。
 - 福祉社会デザイン(145)**は、学部改組で新設されて 2 年目だが、周知が進み大幅増加。改組前の社会(社会福祉)とライフデザイン(人間環境デザイン)、(生活支援/生活支援学、子ども支援学)との比較では、前年度大幅減少の反動も加わり大幅増加。改組前と比較可能な 2 学科では、(社会福祉)(172)は 2 年連続減少の反動で大幅増加、(人間環境デザイン)(134)は 2 年連続大幅減少の反動で大幅増加。なお、もう一つの学科である(子ども支援)(113)は増加。
 - 国際(107)**は、コロナ禍の収束による系統への人気回復の影響もあり、前年度大幅増加に引き続きやや増加。学科別では、2 学科とも増加し、特に(グローバル・イノベーション)(119)は入試日の増設が影響し 2 年連続大幅増加。新規方式を実施した(国際地域)(101)は前年度大幅増加の反動はなく前年度並だが、廃止となった方式を除くと(112)の増加で、新規実施の方式を除いても(109)の増加。
 - 総合情報(107)**は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加。
 - 情報連携(96)**は、入試日を増設したが、その影響はなく前年度大幅減少に引き続きやや減少。
 - 理工(118)**は、改組前の(生体医工)を除いた 5 学科合計との比較では、大幅増加。志願者数は 2 年ぶりに 5,000 人台。学科別では、5 学科全てが増加でうち 4 学科が大幅増加と前年度と逆の増減。特に、(電気電子情報工)(128)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、志願者数は前年度 800 人台まで減少したが再び 1,100 人を上回った。
 - 健康スポーツ科学(112)**は、学部改組で新設されて 2 年目だが、改組前の食環境科学(食環境科学/スポーツ・食品機能)とライフデザイン(健康スポーツ)との比較では 3 年連続増加。学科別では、(栄養科学)(150)は 3 年連続大幅増加で、志願倍率は 6.7 倍→10.0 倍へアップ。(健康スポーツ)(104)はやや増加で 3 年連続増加、志願倍率も 13.2 倍→13.8 倍へわずかにアップ。
 - 生命科学(146)**は、学部改組されたが改組前の理工(生体医工)、生命科学(生命科学、応用生物科学)との比較で、大幅増加。郊外から都心へのキャンパス移転効果も影響。学科別では、改組前と比較可能な 2 学科では、(生命科学)(171)は 2 年連続激増、志願者数は 1,400 人を上回り、志願倍率も 13.8 倍→23.6 倍へアップ。(生体医工)(154)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
 - 食環境科学(168)**は、2 学科 1 専攻から 3 学科へ改組されたが、2022 年度の(食環境科学/スポーツ・食品機能)を除いた比較では、郊外から都心へのキャンパス移転効果も影響し激増。学科別では、既存学科の(健康栄養)(140)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。なお、新設の(食環境科学)は募集人員 72 人に対し志願者数は 503 人で志願倍率は 7.0 倍、(フードサイエンス)は募集人員 63 人に対し志願者数は 245 人で志願倍率は 3.9 倍だった。

<共通テスト利用方式>

- 文(123)**は、大幅増加。学科・専攻別では、全学科・専攻が増加。特に(東洋思想文化)(157)は 4 年連続減少の反動で大幅増加、志願倍率も 11.5 倍→18.0 倍へアップ。英米文(141)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、新方式を実施したが既存方式のみでも(132)の大幅増加。(教育/人間発達)(116)は大幅増加で 3 年連続増加、新方式を実施したが既存方式のみでは(112)の増加。(日本文学文化)(114)は 4 年連続増加。(哲)(112)は新方式導入で増加、既存方式のみでは(100)の前年度並。
- 法(122)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、2 学科とも前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 経済(159)**は、前年度 40%以上の大幅減少の反動でほぼ激増。学科別では、3 学科中 2 学科が増加し、いずれも倍増以上。(国際経済)(325)は前年度激減の反動で 3.2 倍増以上、(総合政策)(294)も前年度半減以下の反動でほぼ 3 倍増。一方で、(経済)(91)は 2 年連続減少。
- 経営(101)**は、微増で前年度並。学科別では、3 学科中 2 学科が増加。(経営)(109)は前年度減少の反動で増加、(マーケティング)(105)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。(会計ファイナンス)(81)は 3 年連続増加の反動で大幅減少だが、志願者数は 1,000 人台に留まった。
- 社会(108)**は、社会福祉デザインの学部改組で 4 学科になって 2 年目だが、改組前の(社会福祉)を除いた比較で、増加。学科別では、4 学科中 3 学科が増加し、前年度と逆の増減。特に(社会心理)(121)は前年度減少の反動で大幅増加、新方式を実施したが既存方式のみでも(118)の大幅増加。一方で、前年度唯一増加した(メディアコミュニケーション)(83)は 3 年連続増加の反動で大幅減少。
- 国際観光(131)**は、コロナ禍の収束による系統への人気回復の影響もあり、2 年連続大幅増加。
- 福祉社会デザイン(195)**は、学部改組で新設されて 2 年目だが、周知が進み大幅増加。改組前の社会(社会福祉)とライフデザイン(人間環境デザイン)、(生活支援/生活支援学、子ども支援学)との比較では、前年度半減以下の反動で大幅増加。学科別では、改組前と比較可能な 2 学科では、(社会福祉)(238)は前年度大幅減少の反動で 2.3 倍増以上、(人間環境デザイン)(187)は大幅増加で 5 年ぶりの増加。なお、もう一つの学科である(子ども支援)(120)は大幅増加。
- 国際(111)**は、コロナ禍の収束による系統への人気回復の影響あり、3 年連続増加。学科別では、(グローバル・イノベーション)(141)は 2 年連続大幅増加。一方で、(国際地域)(96)は 2 年連続やや減少。
- 総合情報(91)**は、2 年連続減少。志願者数は 3 年ぶりに 1,000 人を下回った。
- 情報連携(91)**は、前年度大幅減少に引き続き減少。
- 理工(146)**は、改組前の(生体医工)を除いた 5 学科合計との比較では、大幅増加。学科別では、5 学科全てが大幅増加。特に(電気電子情報工)(170)、(応用化)(152)の大幅増加が目立った。
- 健康スポーツ科学(113)**は、学部改組で新設されて 2 年目だが、改組前の食環境科学(食環境科学/スポーツ・食品機能)とライフデザイン(健康スポーツ)との比較では増加。学科別では、(栄養科学)(130)は大幅増加で 3 年連続増加。(健康スポーツ)(109)は前年度やや減少の反動でやや増加。
- 生命科学(156)**は、学部改組されたが改組前の理工(生体医工)、生命科学(生命科学、応用生物科学)との比較で、大幅増加。郊外から都心へのキャンパス移転効果も影響。学科別では、改組前と比較可能な 2 学科では、(生命科学)(194)は前年度大幅減少の反動で激増。(生体医工)(167)は前年度減少率 34%の大幅減少の反動で激増、志願者数は 580 人を上回った。
- 食環境科学(148)**は、2 学科 1 専攻から 3 学科へ改組されたが、2022 年度の(食環境科学/スポーツ・食品機能)を除いた比較では、郊外から都心へのキャンパス移転効果も影響し、大幅増加。学科別では、既存学科の(健康栄養)(139)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。なお、新設の(食環境科学)は募集人員 27 人に対し志願者数は 407 人で志願倍率 15.1 倍、(フードサイエンス)は募集人員 24 人に対し志願者数は 141 人で志願倍率は 5.9 倍だった。